

## 第2回ミニサロン

「フリー・トーキング」・・・北京オリンピック（照明）、北京三里屯再開発プロジェクト、etc・・・

1. 日時：12月10日（水） 16：00～17：30
2. 場所：財団法人日本建築センター 5階 H会議室
3. ゲストスピーカー：安 小杰（照明デザイナー）、金 竜林（建築士）

### 安小傑氏の略歴：

北京光景照明設計有限公司・グループ代表、北京照明学会諮詢委員会の副主任  
電気系エンジニアから照明デザイナーに転進した。

現在、照明エンジニアリングを中心としたグループ企業を設立し、国内外の建築家や照明デザイナー等と交流し、幅広く活躍している。

同社は、北京に本社を置き、広州事務所、そして香港及び東京にもパートナー事務所がある。

### 金龍林氏の略歴：

建築士。日本を初め海外で10数年間の経験後、中国に帰国した。

建築設計及びデベロッパー企業での研鑽を積み、現在は設計から施工管理まで建築プロジェクトのプロデューサーとして活動している。

北京三里屯開発プロジェクト（北京の大使館街にあるバーストリートの再開発P）の施主側責任者も勤めた。

### ミニサロンの概要



右：安小傑氏、左：金龍林氏

中国賛助会員の安小傑氏と金龍林氏が来日され、標記のミニサロン（第二回）を開催しました。参加者はJCBHの会員や安氏等と親交のある方々に多数ご参加いただきました。

金氏の通訳で、安氏よりPPTを使用して照明に対する東洋人と西洋人の視覚、日本と中国の違い。そして安氏が照明設計に係った北京オリンピック公園や水立法（水泳館）や青島の水上公園（競技施設）、広州の白雲空港、設計中の広州駅や2010年の広州・アジア大会施設の事例などをご紹介いただきました。

またこれからの中国インフラ投資の中で、特に鉄道の駅舎関連市場への取組などもご紹介いただきました。特に照明デザインのみならず、会員企業P社の新技術（EMIT）を利用した制御システムなども採用し、照明トータルシステムとしての設計に腐心されているとの事でした。

ご説明のあと、参加者の皆様から数多くの質問を頂戴しましたが、丁寧にご回答をいただきました。

（参加者＝18名）

（A. H記）

（関連記事：会報 NO.177 掲載）